

さんぽみち



発行 わがまち大田鵜の木地区推進委員会

連絡先
鵜の木特別出張所
3750-4241

第10回 鵜の木地区連合運動会

あの町、この町、ぼくの町、みんな頑張れ、連合運動会！！

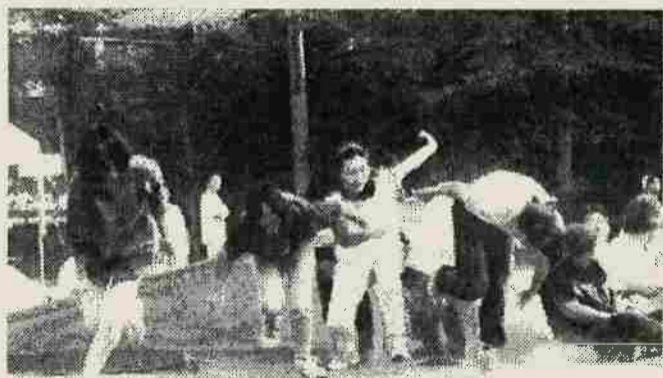
風船運びゲーム
ゴールまで、みんなガンバレ！



第十回 鵜の木地区連合運動会が
 盛大に開催されます。この機会に、
 各町会、各団体の皆様、ご協力
 をお願いします。また、ご来場
 ください。お待ちしております。

（千鳥北町会長）

第十回 鵜の木地区連合運動会によせて
千鳥一丁目 川上 ともよし



私が一位よ！
みんな笑顔で、障害物競走



雨天の時は、学校の体育館で、
頑張るぞ！

最後は、子どもから大人へとバトンタッチ
町会対抗リレー



鵜の木一丁目 海沼 耕作

昭和から平成になり、高齢化社会
 が進んでいます。この機会に、
 各町会、各団体の皆様、ご協力
 をお願いします。また、ご来場
 ください。お待ちしております。

（第一回実行委員長）

平成14年10月6日(日) 大森第七中学校グラウンドにて、鵜の木地区連合運動会が開催されます。
 時間： 午前9時30分～午後3時、 (楽しい賞品が多数あります。)
 皆様のご参加をお待ちしております。

わがまちあの人この人

南久が原二丁目 田中重夫



私は佐渡の相川町出身ですが、今年の八月は父の五十回忌にあたりました。五十回忌は法事が終わったらドンチャン騒ぎが慣例であったのが、二年前から集落の生活改善申し合わせで、法事のあとのお斎は廃止となりました。

理由は金銭的な面もありますが、農業だけでは生活して行けないので若い人が少なくなったからです。

法事は自分の家で行うので、前日から親類総出で家の片付けから食事の用意、終わればその片付けに一日はかかるので親類の人にも迷惑をかけるという切実な問題があり、農村の準市街化であり致し方がないと思えますが、親の五十回忌を行う者は幸だ、不幸だと云います。長兄等がすでにいない現在、親父の五十回忌はせひやりたいと思っていた私は、八月十七日の法要、墓参りのあと、町のホテルにて叙勲受章祝いを開催しました。

「親父！お斎は出来ないが、本当は親父のお斎だよ、安らかに成佛してくれよ」と心の中で念じながら受章祝いを晴れやかな顔でお酒をついでまわりました。

さて、この度春の叙勲で、はからずも勲五等瑞宝章の栄に浴することができました。これもひとえに郵便局関係の人は勿論のこと、地域の皆様の御引立、御支援の賜物と深く感謝申し上げます。

受章当日、皇居にて隣の家の池田進太郎御夫妻とお会い致しました。隣家どうしの受章、拝謁時間まで同じという偶然に、ただ身の引きしまる思いがしました。

私は南久が原郵便局を退職後、鵜の木東町会の会計を担当させていただいております。

町会の行事等は、地域や行政と密接な関わりがあり、その多岐にわたる活動に本当に驚いています。

皆様が地域の連携と活性化にむけて、知恵をだしあつて努力している姿にたゞ頭が下がりますのみです。私もいささかのお手伝いが出来ればと思っております。

さんぽしてみませんか

都営地下鉄「大江戸線」 その4
若松河田～牛込神楽坂

千鳥一丁目 水野 敬司

戦国時代この寺の境内一帯は牛込台地の南端にあたり、この地の領主で北条氏の家臣、牛込氏の居城があった、といわれている。光昭寺(築町15) 牛込氏は、群馬赤城山麓の大胡氏の末で、室町初期に牛込住して来た。

尾崎紅葉旧居跡 慶応3年～明治36年(1867～1903) 倉屋上伊勢守斎藤朝宗(大胡宗親の長男として) 永正5年(1518)に生れ、現群馬県野田町大胡町(現大胡)城の奥州新橋藩の藩主として、新橋藩を治めた。

元禄時代の貞享4年(1687)、五代將軍綱吉(1646～1709)の「生類憐れみの令」により設けられた2300坪の敷地に10万頭の犬が収容された。

宮城道雄記念館(中町35) 明治27年～28年(1894～1926) 31年 明治中期～昭和初期の1777 牛込一の繁華街で、見沙門さま(善国寺)の縁日は大変なごわいだった、と。

文禄4年(1595)現在の麹町6丁目に徳川家康が倉庫を倉庫、何度の大火により寛政5年(1793)にここに移転し山の寺で福神の一。

リレーエッセイ

移りかわりゆくこの世の中

鵜の木一丁目 竹林 佐知子



明治生まれの方を含めて、大正、昭和、平成と時代が移り変わり、それぞれの時代の変化の激しき、ましてやこの平成に至っては、時の流れのすさまじさに本当に驚かされます。この平成という時を後で振り返る時、欠かさない一番のキーワードは「ケイタイ」になるのではないのでしょうか？

携帯電話からインターネットの接続の普及率で日本は世界一位だたそうです。パソコン主体の情報環境を変えるこの事は各国の注目を集めているようです。

携帯電話は確かに便利ですが、所かまわず会話をしている人達を見るにつけ、思いを伝えるのが手紙だった昔をなつかしく感じる事がこの先たくさんあるのではないのでしょうか。

俳句

秋 鵜の木三丁目 青葉 敏子

藍牙えて 洋朝顔は雨が好き
健やかに老いて木槿を賞ず二人
数珠玉の光りに触れし幼なき日
夙に発つ人ら爽やか山の駅
蜻蛉に迎えられたり多摩の土手

編集後記

さわやかな秋空のもと地域の皆さんと共に元気で町会連合運動会に参加してみました。楽しい町会対抗リレー、学校の運動会とはひと味もまた味もちがい皆さんが主役です。

大勢の参加をお待ちしております。

「さんぽみち」三十四号発行の原稿を募集しております。ぜひご投稿を。

編集長 池田 進太郎

鵜の木特別出張所管内	
人	男 10,708名
	女 11,187名
口	計 21,895名
世帯数	10,902世帯
平成14年9月1日現在	